



新型コロナウイルス (COVID-19) の世界的流行下における 自殺予防・自死遺族支援のための学際的・共同研究集会

Interdisciplinary study meeting for suicide prevention and survivor support
under the COVID-19 pandemic

趣旨：新型コロナウイルス (COVID-19) の世界的流行下において自殺の増加が懸念されています。この研究集会では、統計学、疫学・公衆衛生学、自殺予防学、精神保健学、精神医学、心理学、社会福祉学、社会学、法学、宗教学等の学際的研究者と、自治体、地域の自殺予防・自死遺族支援の実践者が集い、新型コロナウイルス (COVID-19) の世界的流行下において自殺を増加させないための戦略について研究発表や報告を行います。また、国及び地域における自殺予防・自死遺族支援のあり方について提言します。

日時：令和3年10月29日(金) 9:00～16:30
令和3年10月30日(土) 9:30～16:30

会場：統計数理研究所 40名(報告者、企画委員等)
Zoomウェビナー 500名(参加希望者)

参加費
無料
申込締切
10/25(月)

参加申込方法：こちらからお申込みください。

プログラム①: 10月29日（金） 9:00-16:30

9:00-9:30 主催者あいさつ、研究集会運営の説明

竹島正（大正大学地域構想研究所／川崎市総合リハビリテーション推進センター）

◆シンポジウムⅠ | 自殺予防・自死遺族支援の取組報告

趣旨：さまざまな場における実践を紹介し、2日間の共同研究集会の問題提議とします。

企画：大塚尚（東京大学相談支援研究開発センター）、勝又陽太郎（東京都立大学人文社会学部）

座長：大塚尚、勝又陽太郎

9:30-9:55 自死遺族支援の現状と取組み

田中幸子（一般社団法人 全国自死遺族連絡会 代表理事）

9:55-10:20 行政の自殺対策の現状と今後の動向

橋本貢河（川崎市総合リハビリテーション推進センター）

10:20-10:45 仕事・住まいなどの相談現場から

中村祐太（川崎市生活自立・仕事相談センター「だいJOBセンター」）

10:45-10:55 休憩

10:55-11:20 精神科医療現場から見た現状と今後

三木和平（医療法人社団 ラルゴ三木メンタルクリニック）

11:20-11:45 教育現場における現状と今後の取組み

堀英太郎（一般社団法人 愛知県臨床心理士会）

11:45-11:50 休憩

11:50-12:00 指定討論

太刀川弘和（筑波大学 医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学）

12:00-12:30 パネルディスカッション

◆シンポジウムⅡ | 自殺の動向とメンタルヘルス

趣旨：疫学研究等の研究成果を紹介するとともに、シンポジウムⅠの問題提起に意見を述べます。

企画：高橋邦彦（東京医科歯科大学M&Dデータ科学センター）、岡檀（統計数理研究所／一橋大学経済研究所）

座長：高橋邦彦、岡檀

13:30-13:55 世界におけるCOVID-19流行下の自殺動向

上田路子（早稲田大学政治経済学術院）

13:55-14:20 日本におけるCOVID-19流行下での自殺の超過死亡：経時的変化と要因別検討

安齋達彦（東京医科歯科大学M&Dデータ科学センター）、高橋邦彦

14:20-14:45 日本におけるCOVID-19パンデミック後の自殺率上昇の地域差及び性差： 全国市区町村の産業構造に着目した分析

岡檀

14:45-14:55 休憩

14:55-15:20 COVID-19流行下での労働者のメンタルヘルスと援助希求行動

山内貴史（東京慈恵会医科大学医学部）

15:20-15:45 メンタルヘルス・自殺動向における災害被災とコロナ流行の影響の類似点、相違点： 東日本大震災被災地のモニタリング

大類真嗣（仙台市精神保健福祉総合センター）

15:45-15:50 休憩

15:50-16:00 指定討論

椿広計（統計数理研究所）

16:00-16:30 パネルディスカッション

プログラム②: 10月30日（土） 9:30-16:30

◆シンポジウムⅢ | 若年者への自殺予防の取組—生徒・学生への自殺予防教育—

趣旨：新型コロナウィルス（COVID-19）の世界的流行下において、若年者の自殺者数が増加している現状から、生徒・学生への自殺予防教育に焦点を当て、その理論的枠組みや具体的な導入方法、そしてこれまでに蓄積されたエビデンスについて紹介し、シンポジウムⅠの問題提議に意見を述べます。

企画：小高真美（武藏野大学人間科学部）・高井美智子（埼玉医科大学医学部）

座長：稻垣正俊（島根大学医学部精神医学講座）

9:30-10:00 **若年者への自殺予防教育の理論的枠組み
—生徒・学生への自殺予防教育プログラム—**

川野健治（立命館大学心理学部）

10:00-10:30 **学校における自殺予防教育プログラム（GRIP）の導入例**

川本静香（山梨大学教育学部附属教育実践総合センター）

10:30-10:40 休憩

10:40-11:10 **新型コロナウィルス（COVID-19）流行下における
大学生の自殺の傾向及び対策について**

川島義高（明治大学文学部）

11:10-11:40 **大学における自殺予防プログラムCAMPUSの実践**

高橋あすみ（北星学園大学・短期大学部）

11:40-11:50 休憩

11:50-12:00 **指定討論**

大塚尚（東京大学相談支援研究開発センター）

12:00-12:30 **パネルディスカッション**

◆シンポジウムⅣ | 国及び地域における自殺予防・自死遺族支援のあり方

趣旨：シンポジウムⅠ～Ⅲを踏まえ、国及び地域における自殺予防・自死遺族支援のあり方について意見交換します。

企画：竹島正（大正大学地域構想研究所／川崎市総合リハビリテーション推進センター）、椿広計（統計数理研究所）

座長：竹島正、椿広計

13:30-13:50 **「シンポジウムⅠ | 自殺予防・自死遺族支援の取組報告」をもとに
大塚尚**

13:50-14:10 **「シンポジウムⅡ | 自殺の動向とメンタルヘルス」をもとに
高橋邦彦（東京医科歯科大学M&Dデータ科学センター）**

14:10-14:30 **「シンポジウムⅢ | 若年者への自殺予防の取組
—生徒・学生への自殺予防教育—」をもとに
稻垣正俊（島根大学医学部精神医学講座）**

14:30-14:40 休憩

14:40-15:20 **指定討論（1）**

小川有閑（大正大学地域構想研究所）、小高真美、
高井美智子、眞崎直子（聖マリア学院大学看護学部）

15:20-15:30 休憩

15:30-16:10 **指定討論（2）**

赤川学（東京大学大学院人文社会系研究科）、辻本哲士（滋賀県精神保健福祉センター）、
田中幸子（全国自死遺族連絡会）、南島和久（龍谷大学法学部）

16:10-16:30 **まとめ
椿広計**



企画委員：

大塚 尚 (東京大学相談支援研究開発センター)
岡 檻 (統計数理研究所／一橋大学経済研究所)
勝又陽太郎 (東京都立大学人文社会学部)
小高 真美 (武蔵野大学人間科学部)
高井美智子 (埼玉医科大学医学部救急科)
高橋 邦彦 (東京医科歯科大学M&Dデータ科学センター)
竹島 正 (大正大学地域構想研究所／川崎市総合リハビリテーション推進センター)
椿 広計 (統計数理研究所)

協力：

一般社団法人 自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター
一般社団法人 全国自死遺族連絡会
一般社団法人 全国精神保健福祉連絡協議会
大正大学地域構想研究所
武蔵野大学しあわせ研究所

本研究集会は下記の協力を得て実施します。

研究課題／領域番号：21H04403 研究種目：基盤研究（A）
課題名：公的統計ミクロデータを活用したEBPM支援研究プラットフォームの構築
研究課題／領域番号：18K10597 研究種目：基盤研究（C）
課題名：都市型準限界集落のソーシャルキャピタルコーディネーター育成プログラム開発と評価